

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報

第33号 令和3年11月1日

発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

賀堂流総本部から指導者表彰授与

辛嶋賀秀感さんが、総本部から指導者表彰を受け、盾を授与されました。指導者表彰は、1年度の間で初伝を3名以上育てた指導者に授与される賞です。おめでとうございます。今後とも、新入会員の発掘並らびに、指導・育成をよろしくお願い致します。

(事務局)

臨時役員総会 開催

執行部会では、かねてから、会員の高齢化等により、今後の会運営が困難になることを危惧し、運営の改革について検討を進めてきましたが、今回 臨時総会で提案する運びとなりました。役員の方々には、是非とも出席頂き、今後の会の在り方につき、議論をよろしくお願い致します。

日時：令和3年11月21日(日)13:30~16:30

会場：産業文化会館 3階 第1、2会議室

議題：① 長岡京吟詠会の運営改革について

② 長岡京吟詠会 会則(改定案)について

(事務局)

市民企画講座で開講して

横山賀秀邦

10月6日市民企画講座で、

「詩吟、構成詩、和歌、

俳句を歌いましょう!!」

を行いました。初めての方も大きな声で、一緒に詠ったり、部分的に一人で声を出してもらったりと楽しかったです。生涯学習ということで、体の健康(腹式呼吸)、心の健康(漢詩等の鑑賞)、頭の健康、仲間が増えて楽しめるだろうということで企画したのですが、欲張りすぎて2時間では無理でした。アンケートの結果は結構楽しかったということで、和歌俳句の方に興味を示され、次はこの講座で楽しんで頂こうと思いました。内容の分かり易い構成詩等も今様と共にうたえば、やってみたいと思われるかも分かりません。入会希望の方もいましたが、お一人でも多くの会員が増えることを願っています。



長岡京市民文化まつりに参加

10月16日に開催された表記まつりに参加し、独吟・合吟各3題を披露しました。本庄会長の進行役で、それぞれの漢詩の解説をし、各クラブの日頃の稽古の成果を市民の皆さんに楽しんで頂きました。(事務局)

故 千阪先生の旧著

「漢土故事物語」を解説(11)

四面楚歌 小林賀清風



項羽

漢の劉邦と楚の項羽の覇権争いが激しくなり、劉邦に追い詰められた項羽は、少数の部下を引き連れ、垓下という町に立てこもったが、兵糧も少なくなった。一方の劉邦の軍勢は十重二十重に取り囲み、夜中には、項羽の陣営に、楚歌の聲が四面から聞こえてきた。項羽は「漢は最早、楚の全土を手に入れてしまったか、何と楚人の多いことよ」と驚いた。このような故事により、敵の包囲の中に陥ったことを「四面楚歌」という。

後期昇格審査会の昇格者

9月26日の予定が延期となり、10月23日に実施された昇格審査会において、次の方々が昇格されました。おめでとうございます。今後ますますのご活躍を!!

一級：市川富美子(邦山)、木野田美智子(長天)

初伝：関谷和子(亀岡)、豊岡重次(長天)

中伝：田中俊二郎(秀邦)

奥伝：谷口富夫(長①)

師範代：櫻澤 茂(長①)、田中浩一(長①)

師範：山本一枝(秀美) (敬称略 事務局)

令和4年の予定

総本部 30回記念大会

来年に延期された表記大会の概要が決定しました・

日時：令和4年9月11日(日)

会場：アクリエ姫路中ホール

内容：令和3年プログラム通り実施

(配布済のプログラムは、次回まで大切に保管下さい)

令和4年度の行事計画案〔府連〕

府連から来年度の行事計画案が公表されました。

4/24(日) 全国吟詠コンクール京都府大会 ラポール京都

5/ 8(日) 京都府連コンクール本選 ラポール京都

(第1部・シニア・ジュニア予選無し)

5/22(日) 全国剣詩舞コンクール京都府大会 右京ふれあい文化会館

6/26(日) 京都府吟士権者決定詩吟大会

第二部

ラポール京都

11/20or27(日) 吟詠剣詩舞道祭

(事務局)

R3/ 11月・12月の予定



光明寺の紅葉

長岡京吟詠会

11月 3日(水)	14:00	師範会	公民館講座室
11月 17日(水)	14:00	師範会	産文 3F 第2会議室
11月 24日(水)	14:00	執行部会	公民館学習1
11月 28日(日)	14:00	企画・研修部会	公民館学習2
11月 21日(日)	13:00	臨時役員総会	産文 3F 第1・2会
12月 1日(水)	14:00	師範会	公民館講座室
12月 15日(水)	14:00	師範会	公民館講座室
12月 22日(水)	14:00	執行部会	産文 2F 第1会議室

本部・総本部

11月 14日(日) 京都本部常任理事会 丹波マース

府連・府総連

11月 21日(日) 府連吟詠コンクール決勝大会 府連中止に伴い中止

ある日のお稽古でのこと

新会員??それとも準会員?? 横山賀秀邦

ある日のお稽古でのこと。暑い日で、和歌山県橋本から来られている彼女。『こんにちわ!!』と元気な声が聞こえました。『いらっしゃい!! 早く冷房の効いた部屋に入って入って!』と叫んでいます。机の横でリュックを降ろした途端に、バタバタと蟬の羽音。キャーと逃げ出す彼女。駅から家まで歩いている時にリュックに止まったのか、電車に乗ってきたのか。新しい吟の仲間かしらと思ったら、あなただったの。掌^{てのひら}に止まらせて、語りかけます。あなたは詠えないから、庭の仲間と一緒に鳴いて、暑い夏の短い一生を満喫して頂だい。外に出して、暫くすると合唱が始まりました。

白黒の猫も時々網戸越しに中を覗いています。『ご飯食べたの??詠ってみる??』と声を掛けますが、じっと見ているだけ。

皆さんの良い声で、色々と覗きに來ます。名簿に載らない準会員です。



詩吟との出会い

長谷川賀秀功 (秀邦詩吟クラブ)

今は亡き円藤賀真寿先生が、長谷川さん詩吟をしませんと近くの中塚賀秀優先生を紹介して下さいました。これが私と吟との出会いです。中塚先生には、何も分からない私に基礎からご指導頂き十年近く大変お世話になり感謝致しております。中塚先生から、貴方の近くで福岡賀秀泉先生が漢詩を教えておられるから、一度訪ねてみなさいと漢詩の勉強を勧められました。これが、私の漢詩と吟の出発点です。

福岡先生からは、『吟をやるならその漢詩の意味をまずよく理解し、さらに何回も読み返し作者が何を伝え様としているのか知ることが基本である。さらに、日本語を正確に理解する事が重要であり、これらのことが、作者の気持ちを伝え、聞いている人に感動を与える事の出来る吟詠の要である。』と学びました。

福岡先生の漢詩教室に通い、自分で漢詩が出来る様になると、次は吟詠のレベルアップが重要と、横山賀秀邦先生を紹介して頂き、現在特訓中ですが、吟の奥深さに感動しております。同じ日本語でも、その持つ意味が発音、発声で異なったものになることを知り、腹式呼吸『横隔膜を広げて』に従い、短時間に多くの空気を吸い込み、大きく声を前に出す訓練をしました。その後、少しブランクがありましたが、そのリハビリもかねて、先生にご苦勞をおかけし、律詩、五言絶句、七言絶句、和歌、俳句と欲張り、吟詠が命と思いながら楽しんでおります。

今後ともよろしくお願いいたします。

シリーズ「吟道と剣道」その23 長尾賀秀剣

【生まれつき?】

佐々木秀景先生の講演から(2)

先生は「声は生まれつきのものだと思っていませんか?」、「声の良し悪しは声帯だと思っていませんか?」と参加者の皆さんに問いかけ、声帯は楽器で言うリードの役割をし、そこから出た振動を、体を楽器としていかに共鳴させるかで声の質や大きさが決まるので、「声は育てるものです」と言われました。そしてその育て方を具体的に説明して下さいました。私はつい先日、運動神経の専門の先生のお話を聞く機会がありました。「運動神経は生まれつきのものだと思っていませんか?」と言うテーマのお話しです。結論は、運動神経は生まれつきのものではなくて、繰り返し練習して身につくもので、運動神経を良くするには、①上手な人を真似する ②上手くいったものをしっかり脳におぼえさせる ③上手くいったものを繰り返し繰り返す と言うことです。これらを行うことで脳の中にイメージが出来、必要な時に、脳が一番良いものを命令して行動に現わす。運動神経は生まれつきのものではなくて、トレーニングをして脳に学習させた結果だと言うお話しでした。パラリンピックの選手の競技を観ていると、学習と厳しいトレーニングで鍛え上げた技に感服させられるばかりです。

吟道も剣道も科学的な裏付けに基づいて、上手なお手本を大切に工夫もして、何回も繰り返し自ら練習するしかないですね。

『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本 章

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com

